

# 伝統を受け継ぐ皆さんの熱い思い

会員の皆さんに、代野番楽に取り組むそれぞれの思いを聞いてみました。



佐藤久信さん  
(笛)

演目を増やしていきたい

以前は武士舞いをやったんですが、今は健一さんと2人で笛を担当しています。自分も一緒に舞いをやっているつもりで演奏しているんです。今できる演目は六つですが、これから少しずつ増やしていきたいと思っています。



佐藤金雄さん  
(武士舞い)

舞いは相手との相性だよ

あだ討ちけいこをする舞い

「二ノ曾我」は2人で舞うので、目や顔で合図を送りながら相手に合わせて踊るんですよ。性格が合わないのだめなんですけど、斉さんと長年組んでいるので大丈夫(笑)。

ただ、やっぱり年のせいなのか。腰をかがめて舞い続けると、実は、すごく疲れて痛くなるんです。

この番楽を、自分たちの年代で無くしたって言われないように、頑張っって続けていきますよ。



石川 葵さん  
(武士舞い)

相手と息を合わせること

小学5年生の時に初めて演じたんですけど、今でもそのときの記憶がはっきり残っています。基本の扇子を、一生懸命練習しましたからね。

今は二ノ曾我を金雄さんと一緒に演じています。とにかく相手と息を合わせることに気を付



佐藤和彦さん  
(獅子)

けるようにしているんです。

獅子の動きを毎回アレンジ

獅子は、舞台上を激しく自由に動けって言われているので、その時々でアレンジして舞っています。衣装で足元が見えないし、重い木の面をかぶっている

ので、本当に大変です。

やる気と情熱を持った若い会員が入ってきたら、一番目立つ獅子をやってもらいたいと思っています。ヤル気のある人募集(笑)。待っていますよ。



北林輝美さん  
(太鼓)

タイミングを見計らいたたく

私は太鼓をたたいていきます。太鼓は、場面が変わるタイミン

グを見計らってたたくのですが、リズムを合わせてたたくのは難しいんです。

この中で太鼓をたたけるのは私だけなので、早くみんなに教えなきゃと思っています。

私が6歳ぐらいのとき、親が舞いをやっていたのを記憶していますが、自分もそれを受け継いだんだあって思っています。せつかく復活させたんだから、やるわけにはいきませんよ。



石川明夫さん  
(拍子木)

トップバッターは緊張します

しばらく休んでいたんですが、先輩たちが頑張っているのを見て復帰しました。今年の正月は久しぶりに演じてすごく緊張しました。

露払いが舞台を清める最初の舞い。トップバッターは何回やっても緊張しますね。実は早く終わればいいなって考えて演



石川久人さん  
(武士舞い)

伝統あるものを大事に

小学6年生から続けていて、20年ぐらいになります。始めた頃は、扇子を回すのが難しくて大変でした。

獅子を退治する舞い「金巻」は、獅子が舞台上を駆けずり回る姿と、武士が腹に刀を刺したまま1回転する場面が見所です。

特に1回転する場合は、緊張するんです。年齢を重ねることに、番楽への思いが強くなってきました。これからも地域の伝統行事を大事にしていきたいですね。